



2025年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社サイバーセキュリティクラウド
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘
(コード番号：4493 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 倉田雅史
(TEL. 03-6416-9996)

2025年12月期 第1四半期決算に関するQ&A掲載のお知らせ

当社は、2025年12月期 第1半期決算に関するQ&Aを掲載いたしましたので、お知らせいたします。

前年同期と比較して営業利益率が低下した理由は？

2024年1Qは、デジタル庁のガバメントクラウド関連案件の計上や費用の抑制が奏功し、営業利益率は過去最高となる33.1%を達成しました。

2025年1Qについては、営業利益率が20.3%となり、通期予想である20%を上回る水準で推移しており、堅調なスタートを切っております。

CloudFastenerの引き合い状況と、今後の見通しは？

昨年に続き、新規顧客の獲得は順調に進んでおります。1Q時点では、課金開始のタイミングなどの要因によりARRへの反映は限定的ですが、2Q以降にこれらの顧客の課金が順次開始される予定です。さらに、持続的な成長に向けて営業活動の強化にも取り組んでまいります。

CloudFastenerのマーケティングの状況は？

2025年2月よりデジタルマーケティングを開始し、実施を通じて広告運用手法やリードの獲得傾向について多くの知見を得ることができました。こうした成果を踏まえ、広告宣伝費については柔軟な調整を行い、より効果的な投資につなげております。今後も業績の推移や市場環境を総合的に判断しながら、成長に資する形で戦略的な投資を進めてまいります。

グローバルにおける顧客獲得状況は？

2025年1月～3月にかけては、パートナー企業との共催によるセミナーを中心にリード獲得に注力し、多くの有望な見込み顧客を創出しました。現在、これらのリードに対して順次アプローチを進めており、グローバル売上高比率10%超の達成に向けて、営業活動を一層強化しております。

株式会社 DataSign を連結子会社化したことによる今期業績への影響は？

株式会社 DataSign は、2025 年 3 月より連結子会社となり、当社の連結業績に寄与しております。通期業績への影響については慎重に精査した結果、現時点では今期の業績予想を据え置いております。

アメリカの関税による事業への影響は？

アメリカの関税については、当社事業への直接的な影響はございません。日本国内においては、顧客の業種や規模に偏りがないため、特定産業の動向に左右されにくく、顧客業績の変動に伴う解約リスクも限定的であると考えております。また、米国における景気動向やインフレ、為替変動などが当社アメリカ子会社の業績に影響を及ぼす可能性はありますが、連結業績全体に対する影響は軽微であると見込んでおります。

以 上